

30年以上前から秦荘西小学校へ行きたいという希望をもっていた私は、西暦2010年(平成22年)に、その希望がようやくかないました。そのときは、どの学年も1クラスで全校180人くらいでした。それから10年。全学年2クラス、子どもの数も300人近くになりました。その間、子どもたちとの楽しい思い出をたくさん作ることができ、保護者の方々や地域の方々にたいへんお世話になりました。ほんとうにありがとうございました。

2年前の離任式では大滝小学校へ行くことになりお別れしましたが、今回は、東近江市の湖東第1小学校へ行くことになり、再びお別れすることになりました。子どもたちの元気な姿に出会えない離任式は非常に残念ですが、新学期に向けて、みなさんが大いに輝いてくれることを期待しています。

最後に、私が尊敬する板倉聖宜という科学者・教育学者の言葉を残してお別れとします。

“科学、それは大いなる空想をともなう仮説とともに生まれ
討論・実験を経て 大衆のものとなってはじめて真理となる。
科学は民主的な社会にのみ生まれ、民主的な社会を守り育てる。”

愛荘町に28年間もお世話になりました。ありがとうございました。

平居 正次郎